

1. はじめに

情報化・技術化社会において、人々がどのような事柄に関心を持ち、知識を習得しようとするかは、やや漠然とした課題ではあろうが、適切なカリキュラムを構築してゆくうえで重要な検討事項である。カリキュラムは、いうまでもなく当該の開発者がある設計思想の下に行うものではあるが、ある程度の時事性を含むようなカリキュラムの構築にあっては、関連の学習者の関心事を、事前にアンケート (KITAGAKI I., TANIGUCHI Y. and SAKURAI S. 1990) なりインタビュー (戸田 1988) なりを通じて把握しておくことが望まれる。

さて、本研究では、アンケートを用いて職業訓練を対象とした情報ニーズ調査を行っているが、その構成にあたっては、次の2つのことを念頭においている。

第一は、当大学校職業訓練研修研究センターでは、全国の職業訓練施設の指導員を対象としたいわゆる職業訓練指導員研修を行っている。その中には工学的手法をとりいれた教育方法にかかわる研修も含まれるが、彼らがどのようなテーマに興味を抱いているかを調査したい、ということである。これにより、カリキュラムのあり方や実際の指導内容の検討に、一つの指針を与えることが期待される。

第二に、「教育訓練で望まれる内容や方法」などと一口にいても、発問としては漠然としていて意図がつかみにくい。そこで、ここでは、比較的短い用語を多数羅列し、アンケート回答者が、それに対してどの程度の興味を感じるかを答えたり、興味の度合を比較する、という手法を中心にして、アンケートを構成している。

以下、アンケートの制作過程、その内容、分析結果などを述べることにしたい。